

RYUKAI

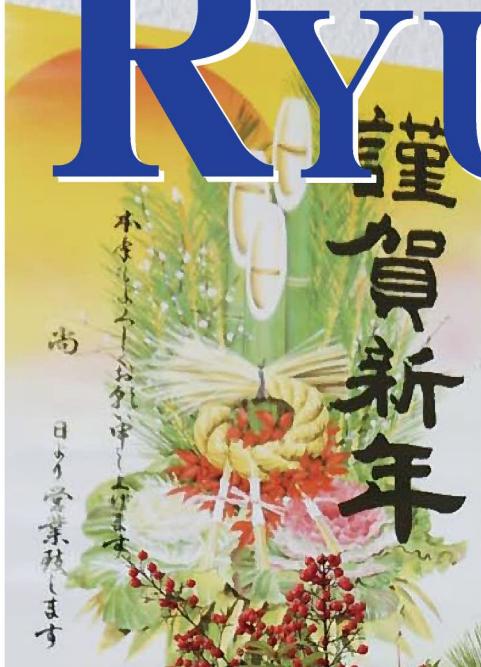
RKK Group Magazine りゅうかい

RKK

2020 No.292
新春号

RKK

謹
賀
新
年



夢とくらしと文化をはこぶ
琉球海運株式会社

琉球海運グループ

沖縄港運株
株沖縄輸送サービス

宮古港運株
株九州輸送サービス

八重山港運株
株きょうはい

沖縄荷役サービス株
国際輸送株

株沖縄急送
琉海リース株

年頭のご挨拶

琉球海運株式会社

代表取締役社長 宮城茂



皆さん、明けましておめでとうございます。二〇二〇年の輝かしい年を無事迎えられたことをお慶び申し上げます。年頭に当り、一言所感を述べさせていただきます。

昨年は、全国各地で台風や洪水など自然災害の影響がありましたが、好調な県経済を背景に、沖縄航路は輸送量が前年を上回っております。そのような中、当社は売上が前年を上回って推移してきました。設備面では、九月に七隻目の貨物RO-RO船を九州航路に投入。陸上では大型総合物流センターを糸満及び中城に誕生させ、五月に開業しました那覇港総合物流センターでは代表企業を務める等、引き続き積極的な投資計画を実行してきました。

今年二〇二〇年は当社が創立七〇周年を迎える年になります。一九五〇年(昭和二十五年)一月二三日、真和志村安里の教育会館で八八名が出席して創立発起人会が開催され、当社がうぶ

声を上げました。復帰前後の時代の大きなうねりの中で、我が社は一度大きな経営危機に陥った時期もありました。しかしながら、その時得られた経験から、私達は社会の大きな動きを常に視野に置くこと、経営資源は得意分野に絞ること、時の常識に囚われることなく未来に向け果敢に挑戦すること等を学んできました。

三〇年以上の長い雌伏の時を経て、二〇〇九年(平成二一年)の「第一次新中期経営計画」から私達の本格的な成長戦略が始まりました。船隊の増強、航路網の拡充に加え、長く手付かずだった陸上施設も次々と建設してきました。その結果、売上高や自己資本比率等会社の基礎体力は大きく向上しております。

この十年間で会社は大きく成長しましたが、海運業が経済動向に大きく左右される業界であることも踏まえ、これからも自己改革と挑戦の手をゆるめではありません。この七〇周年は

次の一〇〇周年に向け改めて気を引き締める、その起点にしたいと考えております。

今年の課題は、第一に一月一日から始まったSOX規制への対応です。BAFについてお客様に丁寧に説明し協力をお願いすると同時に、何よりも自社の燃費改善に全社挙げて取り組まなければなりません。運航オペレーション全体の効率化を推進する等、海・陸一体となつた対応が求められます。

第二は、競争力の向上です。沖縄航路では我が社同様、競争各社も船舶の大型化を進めてきます。競争相手とのポジショニングを明確にし、強いところは更に強化し、弱いところがあればこれを見直す工夫をグループ各社と共に探つてほしいと思います。

第三は、規模の拡大と質の充実です。これまで私達は大型物流センターを次々と建設してきました。これからも各拠点でプロジェクトを推進して行

く予定です。完成した施設については、グループの総力を結集して稼働率一〇〇%を目指してほしいと思います。

今年は待ちに待つた東京オリンピックが開催され、沖縄では那覇空港の第二滑走路の運用が始まります。観光客の増加が期待できるところです。日本経済の減速等「ボスト二〇二〇」の懸念はありますが、県経済は基調としてはこれからも拡大して行くものと思います。一方、物流業界では、人手不足など取り巻く環境には厳しいものもありますが、グループ各社と相協力して、これを乗り切つて行きたいと考えております。

結びに、夢とくらしと文化をはこぶ我が社にとって、安全運航は最大かつ最重要の使命です。全社一丸となつて安全管理体制を引き続き強化していきます。首里城の一日も早い再建と、皆様及び皆様のご家族にとって輝かしい年となりますよう祈念申し上げ、年頭の挨拶とします。

沖縄荷役サービス(株)

創立55周年記念祝賀会

11月9日(土)、那覇市内のDOUBLE TREE by Hilton 那覇首里城にて「創立55周年記念祝賀会」を開催しました。RKKグループ各社の役員をはじめ、パートナー会社の代表者等をお招きし、役職員一同で感謝の気持ちを伝えました。琉球海運社長の宮城茂様より来賓祝辞を賜り、また会長の山城博美様より乾杯の御発声を頂きました。

余興では舞蹈や琉球古典音楽、創作エイサーがあり、また弊社役員・社員全員参加のビデオ余興「国道508号線」が披露され会場は大いに盛り上りました。60年、70年、そして100年企業を目指してこれからも頑張って行きますので、どうぞよろしくお願ひ致します！

※余興のビデオを見たいと思った方は沖縄荷役サービス総務部平良まで！笑



令和元年度 船舶事故対応訓練および事故発生時模擬記者会見

11月26日（火）本社会議室にて事故発生を想定した船舶事故対応訓練及び模擬記者会見が行われました。本訓練は、船舶部による想定事故のシナリオに基づき、年に一度定期的に実施しています。

今回の事故対応訓練では、弊社船舶「ちゅらしま」が平良港出港中に風にあおられ浅瀬に座礁するという内容で、負傷者の対応や油漏れの確認等本船側との連絡を含めた迅速な対応が必要となる訓練となりました。

事故発生に対しての模擬記者会見では宮城社長、平原専務、比嘉常務、宮城常務が会見し、記者役に選ばれた職員三名からの質問では事故発生時の状況、会社の安全管理規定、油漏れや乗組員の対応を問う内容が次々と挙がりました。安全運航の大切さを再認識し、陸上職員と海上乗組員の確認連絡の大しさを改めて感じる機会になりました。

今後も、万が一の場合に万全の備えをするとともに、安全運航への取り組みを引き続き行っています。



事故対応訓練



模擬記者会見

(株)九州輸送サービス

創立30周年記念祝賀会

弊社創立30周年記念祝賀会が、10月17日(木)に福岡市中央区の西鉄グランドホテルにて開催されました。

弊社は平成元年10月6日に創立され、このたび記念すべき30周年という節目を迎えたのが令和元年という事で、とても感慨深いものを感じています。

祝賀会にはお忙しい中、県内外から多数のお客様にご出席頂き、たくさんのご祝辞を頂戴致しました。また、弊社O Bの方々にもご出席頂いた事は弊社の短いながらも30年という歴史を既存職員に感じてもらえたのではないかと思います。

弊社は令和3年（2021年）にアイランドシティへの移転を予定しております。これは弊社にとって、これまで経験した事のない大きな転換期です。しかし、この転換期を役職員一同が一致団結して乗り越え、更なる社業発展を目指す所存ですので、琉球海運グループ各社の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



琉球海運(株)

新入社員向けフォローアップ研修

12月19日(木)、琉球海運(株)1階会議室にて新入社員向けフォローアップ研修が行われました。今回の研修は、1.コンプライアンスについて、2.CS(顧客満足)について、3.我が社の営業活動と売上高の内容等について、以上3つのテーマをもって行われました。

テーマ1とテーマ2は総務部石新部長が担当してくださいり、企業としてコンプライアンスとCSの追求にはゴールはなく、常に考えていかなければならぬと、その他の組織、団体を例にして説明して頂きました。テーマ3は企画部大湾課長から輸送方法(DOOR～CY、CY～CY等)の違いやその際の手配の違い、また、貨物のダメージやなどを説明して頂きました。

この研修を受け、経営理念である「お客様を大切にする企業」、「地域社会に愛される企業」の意義を今一度再確認することができた貴重な機会となりました。研修をして下さいました石新部長、大湾課長、ありがとうございました。

営業部 中田



研修の様子



ありがとうございました！

福岡支店 上間 共

赴任レポート

十一月一日付で福岡支店に赴任致しました上間共です。

私は、本社で五年半（企画部二年・船舶部三年半）勤務し、この度福岡支店に着任致しました。赴任して一ヶ月半、新しい業務に戸惑いもありますが、チームワーク抜群な支店の先輩方に支えていただきながら、充実した日々を過ごしています。

とんこつの香りにはまだ慣れていませんが、コートに身を包み、福岡の冬を味わっております。そんな中、訪船した際に船舶部でお世話になつた乗組員の皆様にお会いすると、故郷の沖縄をすぐ近くに感じ、ほっこり温かい気持ちになります。

一日も早く皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



新任紹介



営業部
阿波根 愛美

12月1日付で契約社員として営業部に配属となりました、阿波根愛美と申します。前職では、メーカーのNVOCC(国際一貫複合輸送)の業務や調達業務に従事しておりました。このたびはご縁あって琉球海運で働くこととなり、活気あふれる営業部の現場に圧倒されおりますが、これから1日でも早くみなさまのお役にたてるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどどうかよろしくお願ひします。



グループ戦略室
吉濱 実哲

琉球海運㈱ 本社赴任挨拶

11月1日付で琉海ロジスティクス株式会社採用、同日、琉球海運グループ戦略室に出向で参りました、吉濱実哲(よしはまさねのり)と申します。これまでの職務経験は、主に不動産業・ビルメンテナンス業に務めており、前職では、那覇港総合物流センターに携わりました。

縁があって採用いただき、グループ戦略室の配属に興奮しております。グループ戦略室は、顧客(荷主・海貨業者)に直接関わる事のないバックオフィスですが、社内各部門及びグループ各社を顧客と考え、各位の運営に資するよう務める部署と理解しております。島嶼県沖縄のくらしを支える琉球海運及びグループ各社の一助となれれば幸甚です。

仕事以外の自己紹介を少しだけ。趣味は買書で、電子書籍及びオーディオブックを購入します。小説は殆ど買わず、ビジネス書や教養書、そしてお恥ずかしながら漫画をよく買います。但し、決して多読家ではなく、買った本のうち実際に読む本は20冊中1冊くらいのため、趣味を読書ではなく買書と自称しております。

これから皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。